

芸工の話題

あれこれ。

映像に建築、プロダクト、都市、情報、音楽などなど。芸工の領域はあれこれ広い。なので芸工や会員の話題も、やっぱりあれこれ色々ありますが、その一部をご紹介します。

水野みか子教授の 作曲の列車接近メロディが着メロに

名古屋市民にはお馴染みの地下鉄の列車接近メロディ。あの軽快な音楽は水野みか子教授が作曲したものです。駅構内の雰囲気や和らげることと利用者に地下鉄への親しみを持ってもらうことを目的に、07年3月から導入され、09年5月からはなんと、名古屋市交通局の携帯サイトから着メロのDLサービスもスタート。「職員のアイデアと利用客からの要望があったことがきっかけ」とのことです(名駅経済新聞より)。PCサイトからも試聴ができるので、名古屋圏以外の方もぜひ聞いてみて下さい。



「各路線の雰囲気をイメージして作って下さい」という交通局のむずかしい要望に苦心しました。路線のイメージってなに？ 8秒程度という短い時間の中で、楽しく音の組み合わせを試してみました。「ち、か、て、つ、たのしいね」なんていう「隠し言葉」も込めてあります。(水野教授より)

名古屋市交通局 列車接近メロディ (PC サイト)
www.kotsu.city.nagoya.jp/fun/melody.html

森ジュンさんが芸工に帰ってきた！

1期生から5期生の視覚情報デザイン学科の学生を助手としていろいろとお世話して下さった森君子さんが、この春からデザイン情報学科の准教授に就任されました。担当はもちろんグラフィックデザイン。年齢不詳(?)の若々しさとハキハキとした口調で、これからも大学を盛り上げて下さい！



お尋ねの際は、「メールをしてから来てね」とのことです。
mori@sda.nagoya-cu.ac.jp

1期生 視覚情報卒業の島田洋海さん、狂言師として独立

02年に視覚情報デザイン学科を卒業後、江戸初期から続く京都の狂言師 茂山千五郎家に入門された、芸術工学部1期生の島田洋海さんが、この4月に狂言師として独立されました。

ユニークな人が多いといわれる1期生の中でも、一際異色を放つ島田さん。卒業制作の軽自動車を叩くパフォーマンスも注目を集めました。狂言師という職も他に類がありません。昨年夏に、芸術工学部で開催された国際デザインワークショップ IWASEDANのフェアウェルパーティーで狂言の公演をしていただきましたが、その迫力ある声と翁の面のような笑顔が印象的でした。7月31日には出身地岡山で独立披露狂言会を開催され、今後も京都を中心に各地で活動をされるそうです。今後ますますのご活躍を応援しています。



写真左端が島田さん

お豆腐狂言 茂山千五郎家 <http://www.soja.gr.jp/>

2期生 生活環境卒業の前田直樹さん、 ショートストーリーなごやの映像化監督に

名古屋を舞台とする短編小説の受賞作品を映像化し、名古屋の魅力を全国に発信するプロジェクト、ショートストーリーなごや。その第2回の映像化監督に、2期生の生活環境デザイン学科卒業の前田直樹さんほか、2名の若手映像作家が選ばれました。

前田さんは芸術工学部を卒業後、CM制作会社勤務を経て03年4月渡英。ロンドンフィルムアカデミー在学中にSKY-TVにて商業監督デビュー。06年12月帰国し「dnuof」を立ち上げ、フリーの映像作家として東京を中心に活動されています。

今回、前田さんが映像化するのは名古屋市農業センターが舞台の「バナナ・ジェラード」というショートストーリー。撮影は9月から始まり来年2月までに15分ほどの短編映画を完成させる予定です。どんな作品が仕上がるか期待大です！

名古屋での撮影にあたって、エキストラ@名古屋農業センター、ボランティアスタッフを募っているそうです。興味のある方は右記までご連絡ください。 naokibox@gmail.com



Photo by 栗原大輔

7期生 視覚情報卒業の古田陽介さん、 平成20年度情報処理学会論文賞を受賞

06年に視覚情報デザイン学科を卒業された古田陽介さんと、木本教授他2名による論文「マウスによる仮想折り紙の対話的操作のための計算モデルとインタフェース」が平成20年度情報処理学会論文賞を受賞しました。この賞は平成19年10月から平成20年9月までに掲載された論文が対象で、578編の論文から9編が選ばれました。古田さんは芸術工学部を卒業後、筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻博士前期課程に進学。08年からは同後期課程へ入学するとともに、科学技術振興機構五十嵐デザインインタフェースプロジェクトにて研究補助員もされています。

情報処理学会 平成20年度論文賞の表彰
www.ipsj.or.jp/01kyotsu/award/ronbun_sho/h20_detail.html



8期生 生活環境デザイン学科の東野唯史さん ディスプレイ産業奨励賞を受賞

日本ディスプレイ業団体連合会主催の賞、ディスプレイ産業賞に8期生生活環境デザイン学科卒業の東野唯史さんがディスプレイ産業奨励賞(日本ディスプレイ業団体連合会賞)を受賞されました。東野さんは現在、株式会社博展に所属し、そこでの仕事として昨年末に行ったキャンドルを用いたクリスマスイルミネーション、作品



名「Harumi Candle X'mas 2008」が受賞となりました。趣味のカメラでもショップで個展を開いたり、撮影依頼を受けたりされているという、東野さんの今後のご活躍を期待しております。

溝口修了生の橋詰浩美さん、建築学会優秀修士論文賞を受賞

生活環境デザイン学科(8期生)を卒業後、大学院芸術工学研究科溝口研究室を昨年春に修了した橋詰浩美さんが、09年日本建築学会優秀修士論文賞を受賞されました。論文タイトルは「西洋文化移入期の書籍にみる西洋建築の受容に関する研究」です。昨年、院生室を訪ねた際、分厚い書籍を丁寧に調べていた橋詰さん。コツコツと努力を続けてきた結果の受賞、おめでとうございます！

建築学会受賞論文一覧 www.aij.or.jp/jpn/databox/2009/20090729.pdf

同窓会からのお知らせ

同窓会 www.sda.nagoya-cu.ac.jp/dousoukai/
から **WEBをリニューアル！**

昨年末に同窓会のWEBサイトを一新しました。リニューアルにあたり、5期生で視覚情報デザイン学科を卒業された野村亮之さんらが立ち上げた株式会社sus4に依頼し、更新システムを含めて制作していただきました。個展の開催や受賞報告など、WEBサイトでご紹介する記事がございましたら同窓会事務局までお知らせください。



同窓会 www.sda.nagoya-cu.ac.jp/dousoukai/content/subsidy.html
から **活動助成を利用ください**

萱光会では、会員の皆さまの社会的活動の支援を目的として、活動助成をおこなっています。学内外での展示やパフォーマンス、イベント、親睦会など、皆さまの様々な活動の一助としてご活用いただければ幸いです。応募について同窓会サイトの活動助成のページをご参照ください。皆さまからのご応募をお待ちしています。

おまけ アレコレ

今回、卒業生が制作した印刷物をいくつか同封させていただきました。先生や卒業生の近況の一端が垣間見られるかと思えます。

- 山本真輔教授のゼミ生が制作した「山ゼミレポート創刊号」
- 1999年から2003年まで芸工内で発行されていたフリペ「カヤバー揆10周年記念号」
- 8期生の卒業生を中心に不定期に発行しているWEBマガジン「AKAOKI 特別号」

